

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/07/25号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

### 1700ドル割れは1日で終わり

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



前週は一時1700ドルを割り込む場面がありました。ドルの一人勝ちにゴールド弱気に傾き、日本時間土曜日早朝に発表されたComexのトレーダー別ポジションによれば投資家のポジションは2019年4月末以来のネットショートになりました。先物市場で投資家がショートになるまで弱気になるのは極めて少なく、たいていの場合はロングです。それが9721ロット（1ロット=100オンス（約3.1kg）、つまり約30トンのショートとなりました。しかし、このポジションは火曜日のMOC（market on close、マーケット引け後）の数字であり、その後マーケットが1700ドル割れからすぐに大きく戻ったことを考えると、このショートももはや大きくカバーされている可能性が高いと言えるでしょう。1700ドルを割り込んだことでさらに売りが膨らみ一時1681ドルまで下げましたが、そのトレンドが大きく変わったのが21日のECBの利上げ発表でした。0.5%という市場の予想を超えた幅での利上げで、ユーロ、ゴールドは急騰、ゴールドは1680ドル台から1710ドル台まで急騰、結果的にゴールドの1700ドル割れは日本時間の木曜日朝からECBの利上げである21時30分までという半日足らずで終わり、その後は一時1738ドルまで上昇、一週間の引けは1728ドル近辺となりました。おそらく、弱いロングはここまでの下げで振り払われ、マーケットのポジションは火曜日時点でショートに回りました。それがこのECBの利上げでとりあえずの底値はこれで確認され、逆にショートカバーよび起こされました。今週のFOMC、一時は1%の利上げもあり得るのではと考えられていましたが、今は逆に0.75%でもなく0.5%の可能性もとみられています。そうなるとゴールドにはさらなるショートカバーが入ってくる可能性もあり、個人的にはゴールドは底値を打ったのではないかと考えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

### ゴールド以外の貴金属-PGM5

#### b. プラチナの生産コスト

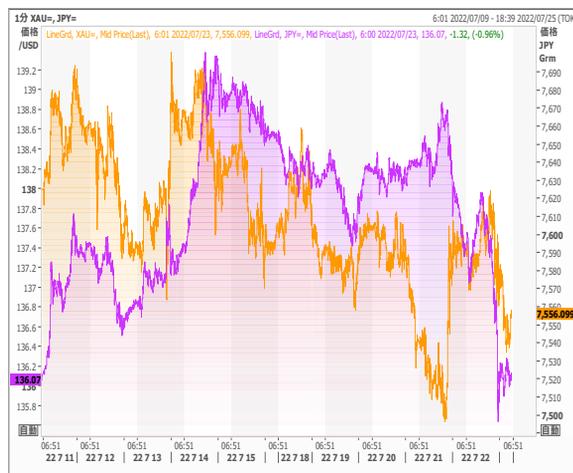
プラチナの鉱山生産のコストは2021年で1オンスあたり496ドルと計算されています。現状のマーケットが900ドル近辺なので、鉱山会社にとっては十分にマージンのある価格であると言えるでしょう。これはPGM鉱山の収入でプラチナの占める割合が13%に過ぎず、（2013年は37%）一緒に出てくるロジウムやパラジウムといったほかのメタルの価格上昇により、それらも含めて計算されるプラチナの生産コストは抑えられている形になっています。（↓プラチナの生産コスト）



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

#### Platinum Equivalent Mine Production Costs\*

	2020	2021	Y/Y
<b>South Africa (Thousand Rand/PtEqKg)</b>			
Total Cash	241	197	-18%
All-In Sustaining	284	237	-17%
<b>South Africa (US\$/PtEqoz)</b>			
Total Cash	455	413	-9%
All-In Sustaining	537	499	-7%
<b>Zimbabwe (US\$/PtEqoz)</b>			
Total Cash	346	360	4%
All-In Sustaining	487	514	6%
<b>Russia (US\$/PtEqoz)</b>			
Total Cash	214	258	20%
All-In Sustaining	336	432	28%
<b>North America (US\$/PtEqoz)</b>			
Total Cash	348	442	27%
All-In Sustaining	470	610	30%
<b>Global Average (US\$/PtEqoz)</b>			
Total Cash	405	392	-3%
All-In Sustaining	500	496	-1%

\* Includes analysis from by-product mines.

Source: Metals Focus PGM Mine Cost Service

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

